



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月11日

上場会社名 株式会社sMedio

上場取引所 東

コード番号 3913 URL <http://www.smedio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩本 定則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 北埜 弘剛

TEL 03-6262-8660

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	324	6.4	26	38.7	28		13	
28年12月期第1四半期	305	10.1	43	59.4	42		34	

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 11百万円 (%) 28年12月期第1四半期 41百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	6.93	6.66
28年12月期第1四半期	18.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	2,149	1,667	77.6	824.20
28年12月期	2,166	1,652	76.3	823.66

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 1,667百万円 28年12月期 1,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		0.00	0.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	706	2.4	44	71.3	43		13		6.77
通期	1,380	7.6	130	26.0	128	236.1	59		29.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期1Q	2,023,421 株	28年12月期	2,006,621 株
-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数

29年12月期1Q	92 株	28年12月期	92 株
-----------	------	---------	------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期1Q	2,006,529 株	28年12月期1Q	1,861,910 株
-----------	-------------	-----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

① 売上高の分析

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の着実な改善によって底堅く推移した個人消費や海外経済の緩やかな成長によって持ち直している輸出などを背景に、緩やかな回復が続いております。

我が国経済の先行きに目を転じますと、米国経済の動向や金融政策運営、新興国経済の動向、英国のEU離脱問題、地政学的リスクなどによって、不透明感が残っている状況であります。

このような環境の中、当社が属する情報通信業界は、IoT（モノのインターネット化）、AI（人工知能）、ビッグデータ、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、通信速度向上、通信規格の高度化といった、今後の社会一般を変貌させる力を秘めた技術革新が、今までにないスピードで進んでおります。当社は、ITの浸透が人々の生活をあらゆる面で、より良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現に、IoTが重要な技術であるとの認識に立ち、引き続き、事業を展開してまいります。

当社の事業は、技術の特徴で大きく分けると、無線接続技術、著作権認証技術を活かしたワイヤレスコネクティビティ事業と脆弱性診断やデータバックアップといった技術を活かしたセキュリティ&プライバシー事業に分けられます。

（ワイヤレスコネクティビティ事業）・・・sMedioおよびブイログが主体

Blu-ray再生ソフトウェアをはじめとするマルチメディアソフトウェアからのロイヤリティ収入を中心とした事業であり、Blu-rayなどを再生するデジタル家電機器（TV、Blu-rayレコーダー、PCなど）のデバイスの出荷台数に影響を受けます。国内のデジタル家電機器の出荷台数は底を打った感が出てきましたが、依然、低調であることには変わりなく、映像の高精細化（4K）への対応やブイログの顔認識エンジンの開発など、技術力・開発力を活かした営業活動を行いました。

（セキュリティ&プライバシー事業）・・・情報スペース、タオソフトウェアが主体

データ移行・バックアップソフトウェア（JS Backup）やAndroidのセキュリティ脆弱性診断ソフトウェア（RiskFinder）、Androidソフトウェアの開発を主力とする開発収入を中心とした事業であります。受託開発を基盤としつつも、一昨年の情報スペースの子会社化以降、データ移行・バックアップソフトウェア（JS Backup）の販路拡大に取り組んできた結果、当該製品は徐々にロイヤリティ収入（3,388千円）を計上するなど、M&Aのシナジー効果が現れてきております。

このような状況において、グループ全体としては、①前期に新規連結したタオソフトウェアの売上73,899千円が加わる一方、②PCなどのデバイス出荷台数が低調であった影響等で、売上高は324,915千円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

売上形態別では、ライセンス・ロイヤリティ収入が198,101千円（同21.5%減）、保守サービス・サポート収入が15,994千円（同90.3%増）、受託開発収入が110,818千円（同148.3%増）でした。

② 販売費及び一般管理費、営業利益の分析

当第1四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は140,105千円（前年同四半期比19.3%増）、営業利益は26,445千円（同38.7%減）となりました。販売費及び一般管理費は、前期に新規連結した子会社での費用14,823千円、本社移転に伴う固定資産の償却費11,780千円などが発生し、営業利益は減少しました。

③ 営業外損益、経常利益の分析

当第1四半期連結累計期間における営業外収益は2,317千円（前年同四半期比3.8倍）、営業外費用は600千円（同99.3%減）、経常利益は28,163千円（前年同四半期は42,982千円の経常損失）となりました。前年同四半期は、多額の為替差損を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間は、外貨の保有量を圧縮したことや為替予約を活用したことで、為替による営業外損益への影響は小さくなりました。

④ 親会社株主に帰属する四半期純利益の分析

当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は13,899千円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純損失34,460千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、1,886,717千円であり、前連結会計年度末と比べ11,771千円増加しました。これは主に売掛金が36,729千円増加する一方、売上の計上に伴い原材料（主に前払いしていたロイヤリティ費用）が41,576千円減少したことなどによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、262,777千円であり、前連結会計年度末と比べ28,776千円減少しました。これは、主に本社移転に伴い有形固定資産が11,761千円、償却によりのれんが10,958千円減少したためであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、253,466千円であり、前連結会計年度末と比べ7,711千円増加しました。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、228,396千円であり、前連結会計年度末と比べ39,640千円減少しました。これは、主に長期借入金が1年内返済予定の長期借入金に振り替えられ、31,352千円減少したことによります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は1,667,631千円であり、前連結会計年度末と比べ14,924千円増加しました。これは主に当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益13,899千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年2月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,364,449	1,364,483
売掛金	80,019	116,749
たな卸資産	379,903	341,233
その他	50,718	64,396
貸倒引当金	△146	△146
流動資産合計	1,874,945	1,886,717
固定資産		
有形固定資産	18,609	6,847
無形固定資産		
のれん	185,536	174,577
その他	60,201	53,224
無形固定資産合計	245,738	227,802
投資その他の資産	27,206	28,127
固定資産合計	291,553	262,777
資産合計	2,166,499	2,149,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,813	34,068
1年内返済予定の長期借入金	133,582	129,166
未払法人税等	7,710	15,360
前受収益	19,444	17,236
賞与引当金	1,244	5,267
その他	49,960	52,367
流動負債合計	245,754	253,466
固定負債		
長期借入金	249,782	218,430
資産除去債務	10,952	2,101
繰延税金負債	7,302	7,865
固定負債合計	268,037	228,396
負債合計	513,791	481,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,302	503,402
資本剰余金	661,908	664,008
利益剰余金	471,413	485,312
自己株式	△114	△114
株主資本合計	1,634,508	1,652,607
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	1,583	4,931
為替換算調整勘定	16,615	10,092
その他の包括利益累計額合計	18,198	15,024
純資産合計	1,652,707	1,667,631
負債純資産合計	2,166,499	2,149,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	305,301	324,915
売上原価	144,700	158,364
売上総利益	160,600	166,550
販売費及び一般管理費	117,444	140,105
営業利益	43,156	26,445
営業外収益		
受取利息	579	187
為替差益	-	1,754
その他	26	374
営業外収益合計	606	2,317
営業外費用		
支払利息	38	600
為替差損	86,707	-
営業外費用合計	86,745	600
経常利益又は経常損失(△)	△42,982	28,163
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,982	28,163
法人税等	△6,759	14,264
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,222	13,899
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,762	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,460	13,899

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,222	13,899
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	88	3,797
為替換算調整勘定	△5,391	△6,522
その他の包括利益合計	△5,303	△2,725
四半期包括利益	△41,525	11,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,763	11,173
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,762	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。